第４８１号

くまのこだより

令和７（２０２５）年９月１日（月）発行

赤磐市桜が丘東 6-6-704
さくらが丘保育園

丘の上から５

社会福祉法人 岡山こども協会

夏の丘の上はこどもたちでいっぱいです。乳児から小学生までのこどもたちと中高生のボランティア、＋大人。

夏休みの最後に『丘の上ぱるテラス夏祭り』がこどもセンター中心で行われ、園児たちが招かれました。そこでは優しさに包まれて楽しんでいる園児たちの姿があちらこちらで見られました。小さい子の心の内を探りながら接する大きい子の姿も印象的でした。

丘の上にたいようクラブができて１５年目になります。大きい子から小さい子へ、これから先も優しさを引き継いでいけるよう園児と学童のこどもたちをつなげていこうと思います。

花房　由美

すずらんだより

　９月１日は防災の日です。もしもの時に備え非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。
　また、こどもたちにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。
　また、９月９日は救急の日。こどもの事故防止のためにも日頃から事故の防止に努めましょう。

☆こどもの手の届くところに置かないで☆
薬、洗剤、タバコ、ライター、ポット、炊飯器、刃物、針、こどもが飲み込める大きさの物

☆転落防止☆
踏み台になるものはベランダに置かない

☆溺水防止☆
浴室にこどもだけでは入れないように配慮する、湯船の水を抜いておく

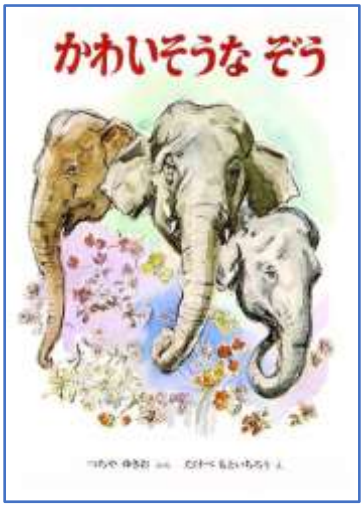
工事情報

　園舎の北側に通路ができて、８月２５日（月）より使用を開始しました。園舎側と園庭を仕切る壁も設置されました。いよいよホールの解体が始まります。こどもたちは工事車両が園庭に入るのを楽しみにしています。
　まっすぐなこの通路。なんて名前にしましょうか。

髙原　泉

あそびと絵本

そら組



戦後８０年という大きな節目の夏。８月は、一人ひとり「命」について考える機会をつくりました。その中で、『かわいそうなぞう』の絵本を題材にみんなで“命の大切さ”を考えました。第二次世界大戦中、東京・上野動物園では、猛獣逃亡を防ぐための国からの命令により動物たちを殺処分する中で、３頭のぞうを餓死させました。ぞうは、弱ったからだで一生懸命に芸をして餌をもらおうとする姿と飼育員の苦悩が描かれています。

絵本を読み終えて、こどもたちに気持ちを聞いてみました。「ぞうが、かわいそう」「しんだらいきかえれない」などその子なりの言葉で教えてくれました。こどもたちがかけがえのない命を大切に生きていけるよう私たちが伝えられることは何か考えさせられました。

土屋　勇気

ほし組

　虫探しが大好きなほし組のこどもたちは、虫の絵本を見ながら「ダンゴムシの赤ちゃんって白いんだね」「幼虫は葉っぱが好きなんだよ」と友だち同士で教え合っています。

　最近、特に人気なのはカブトムシの絵本です。保育室でカブトムシを飼育しているので、そのカブトムシを見ながら「足が６本あるよ！」「ツノが絵本のカブトムシと同じくらいかっこいいね！」と大興奮で見比べています。

　自分の興味のあるもの、好きなものには食いつくように読んだり、保育者に「読んで」と持ってきたりする姿があります。しかし、少し難しくわかりにくい本は手に取らなくなります。こどもたちが「おもしろい！」「もっと見たい！」と思えるような絵本を選択したいと思います。

原　万理奈

つき組

　つき組のこどもたちの推しは『せなけいこシリーズ』の絵本です。話が聞こえてくると、走り回っていた子もピタッと止まり、嬉しそうに集まってきます。

　絵本の読み聞かせには、こどもの想像力を育む効果があると言われています。絵本を読んでもらっているときこどもたちは絵本の世界に入ってその世界を楽しんでいるようです。ロングセラーであるせなけいこの絵本はいつの時代のこどもたちも想像を膨らませられる魔法のエッセンスが入っているようです。

　ぜひ、親子貸し出しの日にせなけいこさんの絵本を借りて帰って、お家でも読んでみてください。

青江　仁美

にじ組

毎日、昼寝をする前に絵本を読んでいます。保育者が選んだ絵本だけではなく、こどもたちが読んでほしい絵本を持って来て読むこともあります。絵本を読んでいる時に言いやすい言葉が出てくると、真似をして同じように言葉を繰り返している姿がなんとも微笑ましく感じます。また、動物が隠れている絵本などでは、「これな～んだ」と質問をし、何の動物なのか考える時間を作ると「〇〇」と答えるこどもたち。何回も読んだことがあると何の動物なのか瞬時に答えることもできます。

また、部屋に絵本を置いていると「読んで」と絵本を持ってきます。読み終わっても「もう１回」とリクエストです。

食べ物のなどが出てくる絵本やリズミカルに言葉の繰り返しがある絵本が人気です。

下山　静菜

ゆき組

「絵本を読もう」と声を掛けると友だちを誘って、保育者の前に急いで座ります。あそびや身近なものが題材の絵本を選び言葉の発達や物の名前を知ること等に繋げています。ストーリーは単純な内容ですが何回も読むうちに内容を覚えてページをめくる前に「おばけでるよ」と期待を持っている姿があり、お気に入りの絵本も出てきました。

これからもこどもたちとことばのかけあいを楽しみながらお気に入りの絵本を増やしたいです。

岡村　里恵

はな組

一人ずつ膝の上でゆったり関われる時間大切にしながら絵本を読んでいます。ページをめくるごとに変わる色や形を目で追い、手で触れるなど興味を示し始めています。絵本の中の絵を指差したり、繰り返される言葉や音を楽しんだりする中で言葉への興味が生まれ、語彙が増えることにも繋がります。絵本を読む時間が安心できる時間となり、情緒の安定にも繋がるといいなと思っています。これから一緒にいろいろな絵本を楽しみたいです。

柏　結衣

給食室より

給食アンケートについて

　食育アンケートを予定しています。日程が決まりましたらお知らせいたします。

　アンケートにお答えいただけた方とお子さんに、「果汁グミ(1粒ずつ)」をプレゼントします。当日、園長と栄養士が「まちぶせ」していますので、ご協力ください。所要時間５分以内でその場でご回答いただきます。

※画像はイメージです。

　給食室の出入り口が変わりました！何か御用があればお声掛けくださいね。

　給食見本の位置は、IC タグ横になりました！お帰りの際はぜひチェックしてください。

夢中になろう会

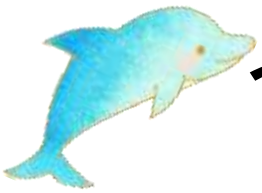
今回はつき組・ほし組・そら組の『ウォータースライダーで夢中になろう会』です。その様子をお知らせします。

そら組

第一回目に滑る時と二回目以降では、滑り方もダイナミックになりました。今しかできない、このあそびを存分にしました。

ほし組

滑るうちにどんどんコツを掴んでいきます。
こどもたち曰く勢いよく滑るコツは、足をあげてお尻で滑ること！



つき組

何度も繰り返し滑ります。
スピード注意！！